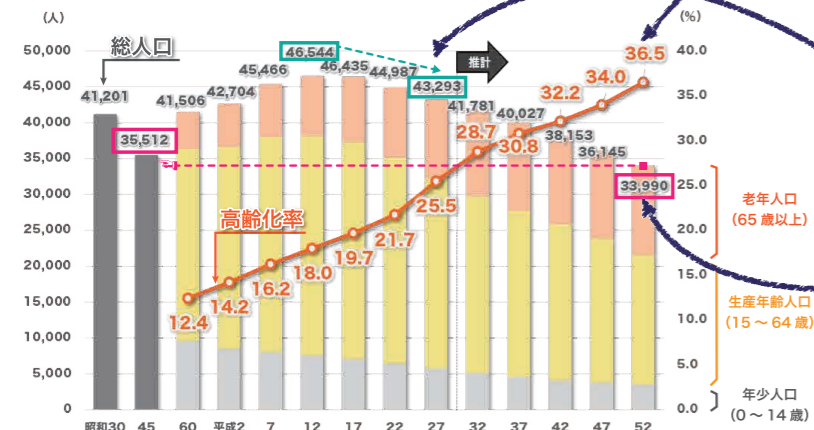


下妻市の人口の現状と課題

人口動向

人口推移



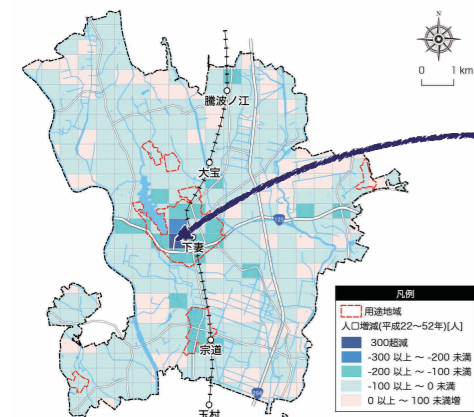
高齢化が進行する予想になっています。



現在の下妻市の人口は、**43,293人**となっており、平成12年をピークに減少しています。

平成52年の下妻市の人口は、**33,990人**と予測されており、**昭和45年の人口と同じくらい**になる見込みとなっています。

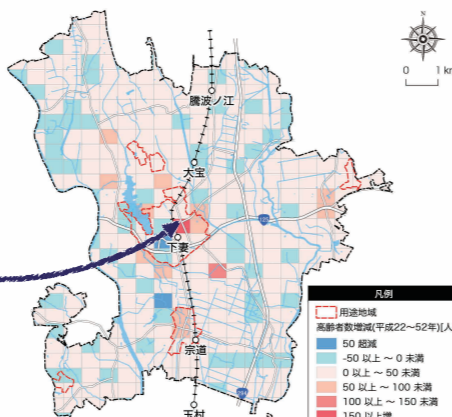
人口増減 (平成22～52年)



市全域で人口減少が予測されており、特に下妻駅西側において顕著となる見込みです。

下妻駅東側などではお年寄りが増える見込みの地域が多くなっており、高齢化が進む予測となっています。

高齢者数増減 (平成22～52年)



人口が減るとどうなるの？

税収の低下によって、学校や公園、道路、水道などの維持・管理・改修などが難しくなる可能性があります。

子育てしやすい環境をつくって、子育て世代を呼び込む必要があるね。

新しくできた「Waiwaiドームしもつま」や「さん歩の駅サン・SUNさぬま」を活かして街なかをにぎやかにする必要もあるね！

高齢化が進むとどうなるの？

コミュニティの衰退によって孤立する高齢者の増加が予想される…。そうすると、出かける機会も減ってしまうけれども、健康的に暮らしていけるのかな？

高齢になっても元気に暮らせるように、外に出かけたいようなまちづくりが必要だね！

出典：国勢調査（総務省）、国勢調査に関する地域メッシュ統計（総務省）、地域別将来推計人口 平成25年3月（社人研）より作成
※グラフの総人口は年齢不詳を含み、人口構成別割合及び高齢化率は不詳を除いて算出している。

特集

コンパクト+ネットワークのまちづくり

近年、全国的に人口の急激な減少と高齢化が進行しています。本市でも人口減少・高齢化は着実に進行しているため、子どもから高齢者まで誰もが安心して快適に暮らせる環境を形成しながら、財政面と経済面において持続可能な都市経営を可能としていくことが必要となっています。市は、これらの課題に対応するため、「立地適正化計画」の策定に向けた検討を進めています。

都市整備課 ☎45-8128 FAX 43-2945

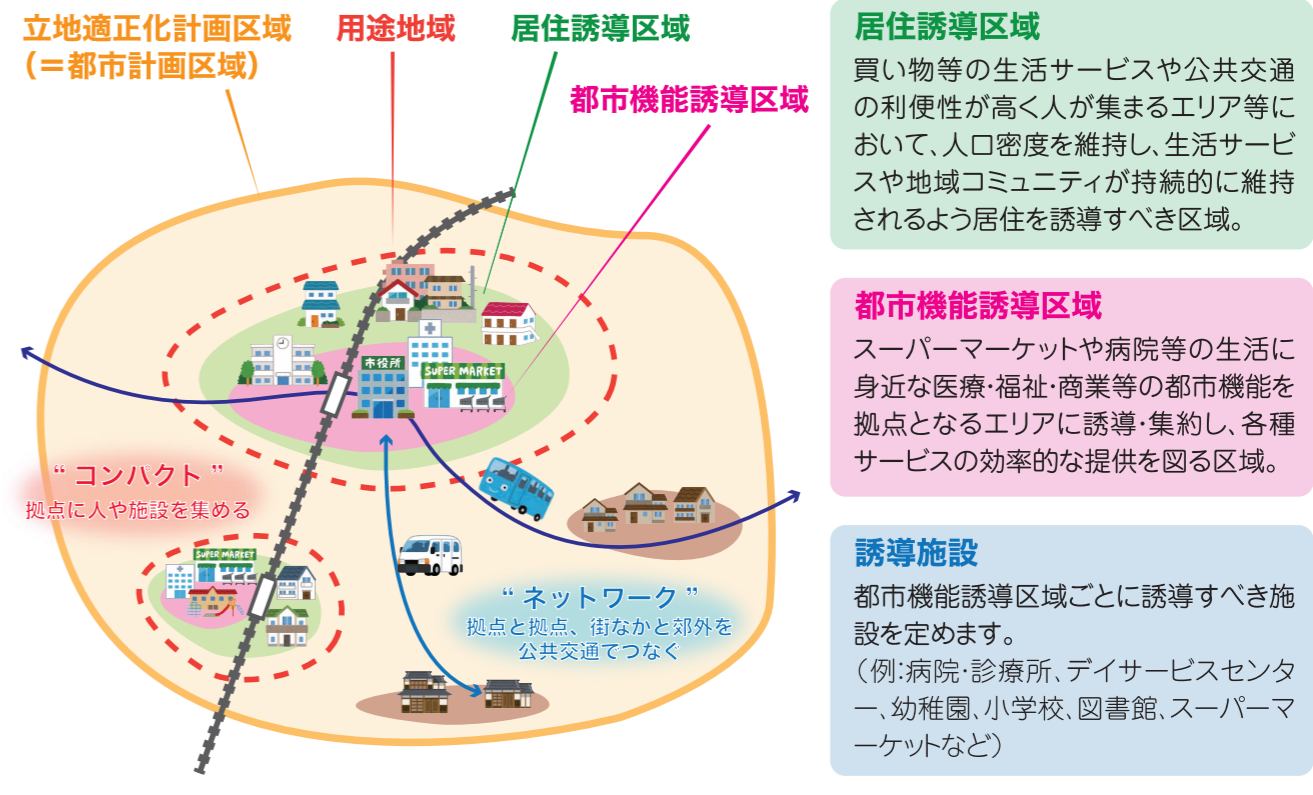
立地適正化計画とは

立地適正化計画は、「都市再生特別措置法」に基づく計画であり、人口減少・高齢化の中でも将来にわたって持続可能なまちづくりの実現を目指し、居住機能や都市機能（医療・福祉・商業等）の誘導、公共交通の充実により、「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりを推進するためのマスタープランです。

これまでのまちづくりは、都市の開発を「コントロール」してきました。しかし、これからはそれだけでなく、企業や市民などが連携し、街の活性化や生活サービス・インフラなどの質の向上を目指すため、都市を「マネジメント」という新しい視点を持ってまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

立地適正化計画のイメージ

立地適正化計画では、**居住誘導区域**と**都市機能誘導区域**を設定するとともに、立地を誘導すべき都市機能を誘導施設として定めることができます。



※立地適正化計画は、都市全体を見渡したマスタープランとしての性質を持ち、都市計画法に基づく市町村マスタープランの一部とみなされています。本市においても「下妻市都市計画マスタープラン(平成28年4月改定)」の内容を考慮しつつ、時代の変化とともに発生した新たな課題に対応した考え方も盛り込みながら策定を進めます。